



**未来へつなぐ、いのちのバトン
カリフォルニアアシカの赤ちゃんが18年ぶりに誕生しました！
2025年6月5日（木）**



2025年6月5日撮影（0日齢）

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2025年6月5日（木）に、パークでは2006年6月の育成成功以来、18年ぶりとなるカリフォルニアアシカの赤ちゃんが1頭誕生しました。現在は、親子で寄り添って過ごしている様子や授乳行動を確認できています。また少しずつ水に慣れ、泳ぐことも始めています。子育ての様子はアニマルランド横プールにて公開中です。赤ちゃんの成長を温かく見守ってください。

【カリフォルニアアシカの赤ちゃんについて】

- ・ 出生日：2025年6月5日（木）
- ・ 頭数：1頭
- ・ 性別：メス
- ・ 体重：5.3kg（6月5日測定）
- ・ 親情報
 - 母親：2017年6月18日（7歳）マリンワールド海の中道生まれ
2021年にマリンワールド海の中道より来園
 - 父親：2011年6月21日生まれ（13歳）東京都恩賜上野動物園生まれ
2012年に東京都恩賜上野動物園よりブリーディングローン制度で来園

【カリフォルニアアシカの飼育頭数】

8頭（オス2頭、メス6頭）※今回の出生個体を含む



【出産の背景】

今回の誕生に至るまでには、多くの挑戦と数々の試行錯誤を重ねてまいりました。カリフォルニアアシカのメスが発情するのは年間わずか数日間のみであり、その限られた期間にしかオスを受け入れないため、雌雄の同居のタイミングを的確に見極めることが非常に難しく、発情の兆候を把握できずに繁殖の機会を逃す年もありました。そこで、ホルモン検査の実施や日々の行動観察を通じて発情の兆しを丁寧に見極めながら、繁殖の成功を目指して取り組み、今回ついにその努力が実を結び、18年ぶりに待望の赤ちゃんが誕生しました。

【今後の展望】

初産を迎えた母親が安心して子育てに取り組めるよう、今後も観察とサポートを継続してまいります。そしてこの誕生をきっかけに、カリフォルニアアシカをはじめとする多くの動物たちが、これからも健やかに暮らし続けられる未来を目指して、日々動物たちのいのちと向き合っています。

〈アドベンチャーワールド カリフォルニアアシカ飼育・繁殖について〉

- 1977年 飼育開始
- 1983年6月 繁殖に初めて成功：1頭の赤ちゃんが誕生
以降2006年までに7頭育成
- 2013年6月 1頭の赤ちゃんが誕生するも死亡
- 2025年6月 1頭の赤ちゃんが誕生

繁殖数：20回の出産（今回の出産含む）で、計8頭の赤ちゃんを育成しました。

【カリフォルニアアシカについて】



分類：食肉目 アシカ科

学名：*Zalophus californianus*

英名：California Sea Lion

生息地：北アメリカの西岸、カリフォルニア沿岸地域

食性：アドベンチャーワールドでは主に魚類やイカを与えています

繁殖：妊娠期間約1年、通常は1産1子です

メスは3～4歳で性成熟を迎え、オスは6～8歳で性成熟を迎えます

寿命：20～30年

特徴：体は比較的スリムで筋肉質、背中では暗い茶色や黒っぽい色で、腹部は明るい色になります。オスは体が大きく、成長すると大きな頭部と突き出た顎が特徴的です。

体長：1.8～2.5m、体重：50～300kg

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

